様式第１号（第８条関係）

発　明　等　届　出　書

令和　　年　　月　　日

研究・イノベーション推進機構長　殿

所　属
職　名
氏　名　　印

国立大学法人弘前大学知的財産取扱規程第８条の規定に基づき，下記のとおり届出いたします。

記

１　取得しようとする知的財産権の種類（該当するものを■とする。）
　　□特許権　　□実用新案権　　□意匠権　　□商標権　　□回路配置利用権
　　□著作権(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ)　　□品種登録にかかわる権利　　□ノウハウ
　　□その他(　　)

２　発明等の名称

３　共同発明者　（　有　・　無　）
　　1)所属
　　2)職名
　　3)氏名

４　共同出願人　（　有　・　無　）
　　1)企業(団体)名
　　2)発明者氏名
　　3)出願希望日
　　4)先方の出願経費等の負担（　可　・　不可　・未定　）

5　発明等に使用した経費等（該当するものを■とする。国の競争的研究資金等で別に取扱要領等がある場合には，添付する。）

□運営費交付金　□寄附金　□科学研究費（課題番号：　　）
□受託研究費（契約書を添付する。）　□受託事業費（契約書を添付する。）
□共同研究費（契約書を添付する。）　□学術指導料（契約書を添付する。）
□なし　□その他(　　)

6　発明等に使用した施設及び設備等の名称

7　研究発表，刊行物発表等の状況（該当するものを■とする。※新聞等を含む。）

□発表予定　□発表済み　□発表予定無し

発表予定又は発表済みの場合は，下記を記入する。（複数該当する場合は全て記載する。）

1)発表機関
2)発表日時
3)発表題名等
4)共同発表者名

8　外国出願の希望　（　有　・　無　）

1)希望出願国
2)理由

9　技術移転関係

1)発明等に関心を示すと思われる企業(団体)名とその理由
・企業(団体)名
・理由
2)発明等の活用に関する学外からの問い合わせ等　（　有　・　無　）
・企業(団体)名
・担当者
・連絡先
3)発明等に関する研究成果有体物又はﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ，ﾉｳﾊｳ等　（　有　・　無　）
・内容

10　本発明に係る知的財産取扱規程における研究室の定義の申出（代表発明者）

11　その他（参考資料等）

部局等受付年月日	担当者名	研究・イノベーション推進機構受理年月日	担当者名
	印		印

発明等届出の内容

発明等の名称： 所　属：(部局等)　　(学科等) 連絡先：(TEL)　　(FAX)　　(E-mail)
1　発明の概要（「何に関する発明か」を具体的に記載する。）
2　権利を取りたい所（「ここを確保したいと思うところ」を具体的に記載する。）
3　従来の技術（文献情報，特許公報を中心に判明している分を挙げ，その概要と問題点を記載する。）
4　発明のポイント（「従来技術の問題点解消のために，どこをどのようにしたか」を具体的に記載する。）
5　実施例（発明等のポイントを示す図面・フローチャート等を示し，各部の名称を記載する。）
6　作用（「各発明等がどのように作用するか」を上記図面に基づいて説明する。）
7　効果（「発明等による特有の利点・優れている点」を従来技術と比較して具体的に述べる。）
8　その他 ①　本発明のキーワード（先行技術調査のため複数記載する。） ②　本発明に類似技術の直近の発表状況（発表内容及び発表状況について記載する。）
参考資料（明細書に盛り込むべき情報は全て代理人に提供し，明細書作成を依頼する。） ・関連出願の明細書・従来技術を示す文献・設計図，参考図等・設計書，技術説明書，仕様書等
明細書案チェックポイント（以下の観点から代理人の作成した明細書案をチェック，補充する。） 発明者が意図した内容が記載されているか厳重にチェックする。 ・技術的な誤りや不正確な点がないか？ ・権利を得たいポイントが十分カバーされているか？ ・将来，実施する際に考えられうる設計変更，材料変更等がカバーされているか？ ・他社，他人が実施する可能性がある「実施例」が全て記載されているか？ ・考えられる発明等の効果が全て記載されているか？